

## パンフレット「健康の秘訣は仲間とのつながり(仮題)」(案)に関する御意見及び活用方法等について

各委員のアンケート結果より

	ご意見	活用・配布のご希望
荒川区健康部	体験談や活動内容の紹介など、読みやすくわかりやすい工夫をしていることは大変よい点だ と思う。さらにフローチャートなど興味を引く工夫に期待する。 しかし、窓口の連絡先リストは必要だろうか？冊子の半分近くを小さい字の電話番号を埋め ても、読みにくいし、そもそも利用するのは自分の地域の連絡先1つだけであろう。思い切っ て、最後のページにあるようにキーワード検索やQRコードを利用すべきではないか？リスト の代わりに各自治体で実際に実施している活動とその内容を例示した方が、参加意欲を高 めて行動変容につながると思う。	保健所や健康づくり関係の窓口での配布は可能ですし、配布すべきだと思うが、せいぜ い1か所あたり20～30部どまりであろう。それ以外に講演会や健康づくりのイベントで 対象者を絞って配布することが効果的だと思う。この場合は、年間50部以上配布できる と思う。
練馬区健康部 健康推進課	練馬区では、区民が参加できる生涯学習講座を網羅した「ねりまの生涯学習：学習・文化ガ イドブック」(HPに掲載)を年度ごとに発行している。 また、ボランティアや区の事業をサポートする人材を育成するため、「練馬Enカレッジ」を設 置し、区民の地域活動を支援している。そうした情報を提供する一助になると考える。	健康部では、各種健康づくり事業参加者に配布できる。また、庁舎内や保健相談所など も可能と考える。 想定される必要部数は500部
立川市福祉保健部 健康推進課	・表紙に「ケンコウデスカマン」のイラストを使用していますが、50・60歳代のターゲットへの 啓発に効果的なのでしょうか？ ・P8の内容は、P4で1ページにまとめてもよいのではないのでしょうか？健康コラムと都の調 査も、同様の内容を、米研究→国内研究→著調査を使って説明しているので、もう少しシン プルな方が読みやすいように思います。	保健センターのほか、生涯学習推進センターや本庁市政情報コーナー等でもパンフレッ トの配置は可能だと思います。
日の出町 いきいき健康課	—	—
東京都 多摩府中保健所	例として挙げられている健康づくり推進員やコミュニティ大学への参加活動は、比較的ハード ルが高いように思います。 このような典型的な取組以外に、より多様な「地域のつながり」を挙げられるとよいと思いま す。	自治体での配布は可能と考えます。 職域部会で検討されているようですが、コンビニやスーパーマーケット等での発信、あ るいは子供・青年層がメッセージャーとなり発信するような仕組みができないものではな いか。